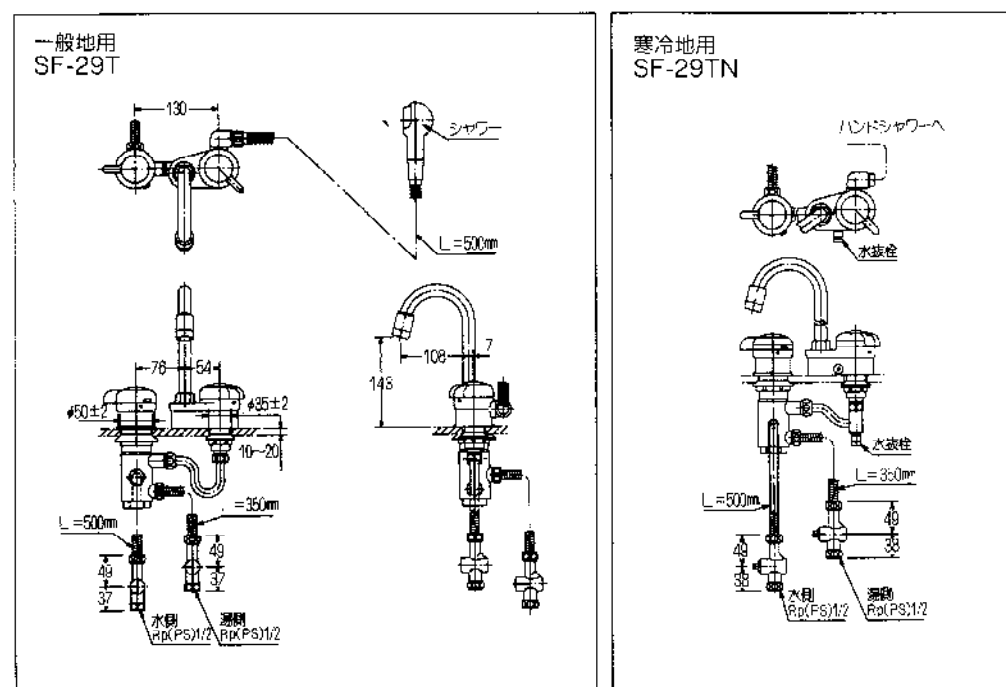
サーモスタット付洗髪シャワー混合水栓

一般地用 SF-29T　寒冷地用 SF-29TN

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注　意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●使用条件

●給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器(比例制御式：16号相当)と組み合わせる場合〕

給水圧力
- 最低必要圧力……A+0.59MPa{0.6kgf/㎠}
- 最高圧力…………0.59MPa{6kgf/㎠}

Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

●測定条件
※開閉ハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度42℃)によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。

〔貯湯式湯沸器と組み合わせる場合〕

給水・給湯圧力
- 最低必要圧力……0.05MPa{0.5kgf/㎠}
- 最高圧力…………0.59MPa{6kgf/㎠}

●温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力は給湯圧力より高圧か、または同圧となるようにしてください。
●給水圧力が0.59MPa{6kgf/㎠}を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力(0.20~0.39MPa{2~4kgf/㎠}程度)に減圧してください。

●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
●給湯に蒸気は使用できません。

●施工前のご注意

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●取付けに必要な専用工具(KG-4)を用意してください。
●商品の表面には直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
●取付後の保守点検のために必ず止水栓(別売)を設けてください。
●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

●施工方法

1. 事前準備
(1)温度調節部本体より止メビスを外します。
(2)ストップリング、サーモリング、固定ナットを外します。
※ダミーハンドルをはずしますと温度設定が合わなくなりますので注意してください。また、ダミーハンドルは回さないようにしてください。

2. 温度調節部本体の固定
(1)取付穴に温度調節部本体を差し込んだ後、温度調節部本体に固定ナットを完全にねじ込みます。
(2)締付ナットを十分に締め付け、温度調節部本体を完全に固定します。
(3)サーモリング、ストップリングを取り付けます。

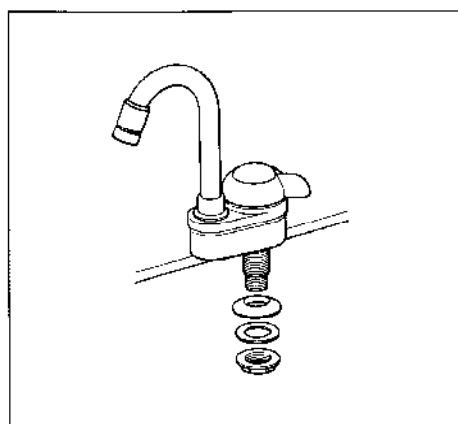
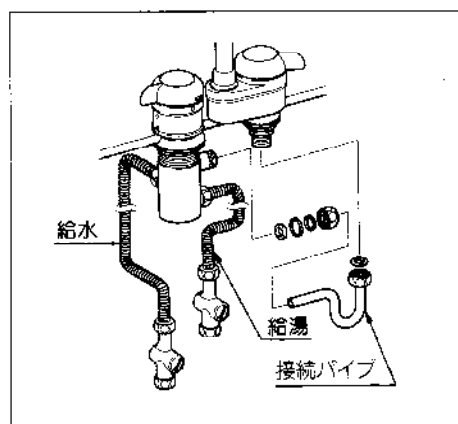
3. ダミーハンドルの位置確認
ダミーハンドルの「40」度表示がサーモリングの表示マーク位置と合っているか確認します。
※合ってない場合はダミーハンドルを回して合わせてください。

4. 温度調節ハンドルの取付け
(1)ダミーハンドルが回転しないようにビスおよびダミーハンドルを外します。
※ダブルセレーションが外れないように注意してください。
(2)温度調節ハンドルの「40」をサーモリングの表示マーク位置に合わせてはめ込み、ビス、キャップを取り付けます。

※吐出温度が合わない場合は、温度調節ハンドルを調節しなおしてください。(温度調節の項参照)

株式会社INAX

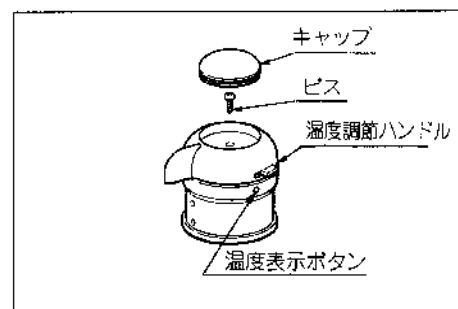
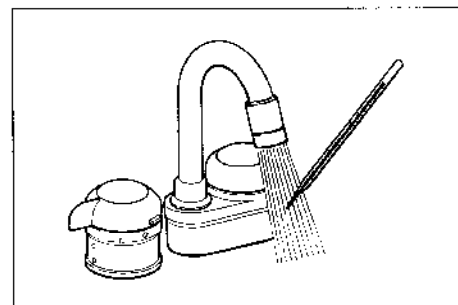
本社 ☎0569-35-2700	札幌支社 ☎011-271-1701	東北支社 ☎022-263-1710	東京支社 ☎03-5541-7111	西東京支社 ☎0425-27-3341
横浜支社 ☎045-242-1710	千葉支社 ☎043-227-8171	埼玉支社 ☎048-668-1177	東関東支社 ☎0286-37-3378	関越支社 ☎0273-27-1793
甲信支社 ☎0263-36-2166	名古屋支社 ☎052-201-1717	静岡支社 ☎054-251-1710	北陸支社 ☎0762-64-1710	大阪支社 ☎ 06-539-3500
京滋支社 ☎075-222-1794	広島支社 ☎082-223-1710	四国支社 ☎0878-21-1701	福岡支社 ☎092-471-1710	南九州支社 ☎096-322-1794

5. 切替部本体を取り付けます。
※固定には別売の専用工具(KG-4)を使用し、十分締め付けてください。

6. 接続パイプを取り付けます。
給水、給湯配管を取り付けます。
給水、給湯をまちがえないようにしてください。

●施工後の調節

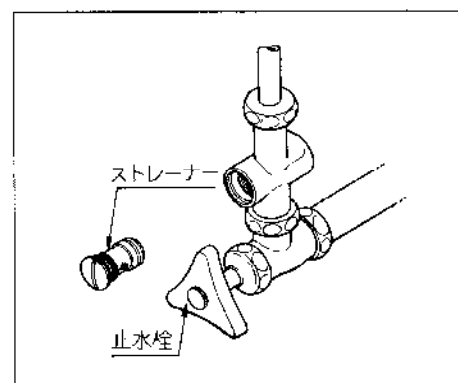
●温度調節

温度調節ハンドルの温度目盛と吐出温度が合わなくなった場合は、次の要領で調節してください。

1. 調節の前に次のことを確認します。
(1)湯側と水側の元栓が十分開いていますか？
(2)湯側と水側のストレーナーは詰まっていませんか？
(3)使用する温度より10℃以上高い温度のお湯がきていますか？

2. 調節手順
(1)全開吐出させて、吐出温度が温度目盛には関係なく、40℃になるよう温度調節ハンドルを回します。
(2)吐出温度が40℃になったところで止水し、温度調節ハンドルが回転しないように注意して、キャップ、ビスを外し、温度調節ハンドルを抜き取ります。
(3)抜き取った温度調節ハンドルの温度目盛「40」が温度表示ボタンに合うように、温度調節ハンドルをはめて、ビス、キャップをはめ込みます。

●ストレーナーの掃除

ストレーナーのゴミ詰まりは機能を低下させます。次の要領で掃除してください。

1. 止水栓を閉じます。(湯と水両方)
2. 止水栓上部にあるストレーナー付逆止弁をドライバー等で左に回して取りはずします。取りはずしたストレーナーについたゴミ等を洗い流してください。落ちにくいゴミはブラシ等で取り除いてください。

●引渡前の確認

引渡前の調節および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現　象	点　検　内　容	点検箇所	処　置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？		ゴミ等を水で洗い流す。 「ストレーナーの掃除」の項参照。
	止水栓は十分開いているか？		流量調節栓を十分開く。
	整流網にゴミ詰まりはないか？	⑤	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	③	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	③	キズがあれば部品を交換する。
湯水の逆流がある	逆止弁は正常か？ (ゴミ、砂かみは？) (パッキン、シートにキズは？)	③	ゴミ等を水で洗い流す。 「ストレーナーの掃除」の項参照。 キズがあれば部品を交換する。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？		ゴミ等を水で洗い流す。 「ストレーナーの掃除」の項参照。
	温度調節は良いか？	②	「温度調節」の項参照。
	温調カートリッジは働いているか？	④	「機能検査」の項参照。
	流量調節はよいか？		「流量調節」の項参照。
	整流網にゴミ詰まりはないか？	⑤	ゴミなどを水で洗い流す。

●機能検査

(1)切替ハンドル①を吐水側の位置にする。
(1)温度調節ハンドル②を「40」に合わせる。
(1)止水栓の水側のみを閉める。
※この時吐出がほとんど停止すれば機能は正常です。
※吐出が止まらずそのままであれば温調カートリッジの故障ですから取替えが必要です。
(1)止水栓の湯側のみを閉める。
※この時吐出がほとんど停止すれば機能は正常です。
※吐出が止まらずそのままであれば温調カートリッジの故障ですから取替えが必要です。

□内は寒冷地用です。